

令和4年1月6日

新型コロナウイルスの感染の確認について

昨日（1月5日）は、県内で衛生環境研究所、診療・検査医療機関で合わせて200件程度の検査を実施し、新型コロナウイルスの陽性者が6名確認されました。

※診療・検査医療機関では、1日当たり約180件（直近1週間の平均検査件数）の検査を実施しています。（毎週金曜日に計上し、公表）

なお、陽性者のうち3名は、変異株PCR検査（L452R）を実施し、陰性であったことから、オミクロン株疑い陽性者として、県衛生環境研究所でゲノム解析を実施します。

- ・濃厚接触者及び接触者の検査により判明した陽性者数：3名
（居住地：新居浜市3名）
- ・上記以外の検査により新たに判明した陽性者数：3名
（居住地：新居浜市1名、西条市1名、大阪府1名）

○陽性者の概要

陽性者	年代	性別	居住地	職業
5,430人目	10代 : 1名	男性 : 1名	新居浜市 : 4名	会社員 : 1名
5,435人目	20代 : 3名			女性 : 5名
	30代 : 1名	福祉関係 : 1名		
60代 : 1名	児童・生徒 : 1名			
	学生 : 1名			
			大阪府 : 1名	教職員 : 1名

○症状の有無

あり	4名 ※全て軽症
なし	2名

○感染経路等

家庭内	: 3名
県外	: 1名
調査中	: 2名

※現段階の調査で感染経路の可能性が推測される場面等

首都圏・関西圏のみならず、地方都市でも陽性確認の増加傾向がみられており、年末年始の県外往来の活発化により、県内にもウイルスが持ち込まれている可能性があります。普段顔を合わせない人との会合の機会の増加等による感染リスクの高まりを踏まえ、県民や事業者の皆さんにおいては、「年明けの注意事項」の徹底をお願いします。

- 基本的な感染回避行動の改めでの徹底
- 外出時は、混雑した場所や感染リスクの高い場所を避ける
- 新年の業務が始まる職場や授業が始まる学校では、従業員や児童・生徒等体調を確認
- 会食は、認証店など、感染対策が徹底された店舗を利用し、参加者の体調確認や連絡先の把握を徹底
- 体調不良時は、決して出勤や登校は行わず、人との接触を控え、医療機関を受診

県では、感染症法第16条第1項の規定に基づき、感染症の予防のための情報の公表を行います。同第2項により個人情報の保護に留意する必要があります。報道機関各位におかれては、報道に当たり、プライバシー保護に御配慮ください。

愛媛県内の状況

【R4.1.6 9時現在】

<封じ込め・終了事例>

事例	公表日	検査数	陰性	陽性	L452R 陽性(+) 陰性(-)	関係者 調査	PCR 検査	健康 観察
対処事例①:1741事例 ※欠番:30事例		39,806	34,394	5,412		●	●	●

<囲い込み事例>

対処事例②:0事例						●	●	○
松山市保健所:1事例 (1768事例目)		4	0	4	■	●	●	○
今治保健所:1事例 (1767事例目)		2	1	1	■	●	●	○

<調査中事例>

対処事例③:2事例		5	3	2		○	○	○
1770事例目 (西条保健所)	1/5	(8) 9	(5) 5	(3) 4	■	○	○	○
1772事例目 (松山市保健所)	1/5	(3) 4	(3) 3		■	○	○	○
新規計	1/6	(3) 3		(3) 3		○	○	○
上記 以外	PCR検査	(10) 70,845	(10) 70,845			—	—	—
	抗原検査	64,460	64,460					
合計		(24) 175,138	(18) 169,711	(6) 5,427		衛生環境研究所等の検査 かかりつけ医等の検査		3件 3件
診療・検査医療機関での検査数 (金曜日に1週間の合計を計上)		前週 1日平均	180件					

【凡例】 ●: 接触者特定済、検査完了、健康観察終了
○: 接触者特定中、検査中、健康観察中

※上記の()内の検査数は、対応中の事例に関して昨日実施した検査並びに衛生環境研究所及び地域外来・検査センターで実施した検査の件数です。

	L452R変異株PCR検査結果 ^{※1} (R4.1.3以降実施分)				ゲノム解析結果 ^{※2} (R3.3.1以降実施分)			【参考】 L452R陰性事例数 (陽性者数計)
	検査数	L452R 陰性	L452R 陽性	判定不能 ^{※3}	アルファ株 (N501Y変異)	デルタ株 (L452R変異)	オミクロン株 (N501Y変異 E484A変異)	
変異株検査	(5) 12	(5) 12	0	0	144	313	1	6事例(+2) (事例合計12人(+5))

※1 L452R変異株PCR検査は、新型コロナウイルスの陽性が確認された方に対して実施しています。

※2 ゲノム解析結果の「アルファ株」は英国で最初に検出された変異株(B.1.1.7系統)、「デルタ株」はインドで最初に検出された変異株(B.1.617.2系統)、「オミクロン株」は南アフリカで最初に検出された変異株(B.1.1.529系統)として確定された件数を示しています。

※3 「判定不能」は、ウイルス量が少ない等の理由により、変異株であるかどうか判定ができなかった件数を示しています。

県内のオミクロン株陽性者の確認状況

- 1月以降、変異株検査を行った全ての陽性者がオミクロン株疑い、またはオミクロン株が確定。
- 県内は感染力の高いオミクロン株が主流となっている。

公表日	陽性者数	オミクロン株 疑い (L452R陰性)	オミクロン株 確定 (ゲノム解析)	検査予定
1月4日	3	2	1	
1月5日	6	6		
1月6日	6	3		3
計	15	11	1	3

「第6波への対処準備期間」

考え方

- ウイルスはすでに県内に持ち込まれている前提で行動・準備
 - ※ 県外から直接、東予・中予・南予の県内各地域に持ち込まれている可能性があり、県内どの地域でも等しくリスクがある状況
- 第6波は、昨年夏のデルタ株をも超える急拡大をもたらす可能性
その波をできるだけ低くするとともに、その対処のための備えを先手を打って整える

警戒レベルの判断

- 連休明け（1月12日前後）の感染状況を踏まえ警戒レベルの変更を検討
- ただし、感染が急拡大する場合には、早期に警戒レベルを引き上げ

医療体制

○ 医療フェーズの引き上げ

- フェーズ1（133床）→フェーズ2（167床）へ切り替え
- さらなる引き上げも見据えて重点医療機関と調整

○ 入院治療の重点化の運用開始

- 重点医療機関等との調整
- 宿泊療養施設の再稼働に向けた関係機関との調整

○ 自宅療養者のフォロー体制の運用開始

- 地元医師会による健康管理、薬剤師会（薬局）による薬の配送
 - オンライン診療による抗ウイルス薬（飲み薬）の処方体制の整備
- ※ 外来受診体制の確保（31医療機関）

検査の拡大

○ 幅広検査の運用開始（1月5日～）

➤ 対象者：感染の不安を感じる無症状の方

（県内在住の方、ワクチン接種歴は問わない）

※ 特に若い世代で、年末年始に県外で感染リスクの高い場面に接した方は積極的な検査を

学校の対策

○ 県立学校の始業式を1月11日（火）に繰延

➤ 年末年始の移動による影響を見極める期間を確保

○ 受験体制の整備

➤ 県立学校入試等において、オミクロン株陽性者の濃厚接触者となった受験者についても、別室で受験できる体制を整備

経済関係（事業者への要請）

- 感染拡大時のテレワークや時差出勤の早期対応
 - テレワーク機材の準備や勤務シフトの変更など準備・確認
- 従業員の体調確認
 - 特に年末年始に県外往来を行った方に対する注意
- 飲食店は認証取得の促進
- ワクチン・検査パッケージの推奨
 - イベントや飲み会、趣味の集まりなどでの活用
- 県内宿泊旅行割引（新みきゃん割）の新規予約停止を検討
 - 連携する隣接県の動向や県内の感染状況を見極めて対応
 - 感染拡大している広島県、山口県は7日（金）から停止

県民生活（県民への要請）

- 当面1週間程度（～1月14日）は会食に注意
 - 人数制限は行わないが、認証店を利用するなど実施方法に注意
 - 特に県外往来した方や、県外から来県した方との接触のあった方は、自ら体調管理に気を配り、3密の場（店舗）への出入り、大声で騒がないなど慎重な行動を

一般の高齢者への3回目接種の開始予定（1/5時点）

「感染状況や接種状況を見てから」ではなく、
順番が来たら、速やかに接種をお願いします！

開始時期		市町数	市町名
1月	下旬	5	砥部町（1/24～）、松前町（1/25～） 東温市（1/29～）、新居浜市（1/31～） 鬼北町（1/31～）
2月	上旬	10	（2/1～）八幡浜市、四国中央市、上島町 久万高原町、愛南町 （2/2以降）伊予市、内子町、伊方町 松野町 （調整中）松山市
	中旬	5	今治市、宇和島市、西条市 大洲市、西予市

※医療従事者及び高齢者施設入所者等については、先行して実施中。

4つのポイント

① 感染回避行動の継続徹底

(感染防止の基本)

② 体調異変時は休んで受診

(職場・学校への感染拡大阻止)

③ 県外との往来は十分注意

(訪問先の感染動向を事前に確認)

④ 会食はルールを守って実施

(飲食店・会食クラスターの阻止)